



平成23年11月 4 日

各 位

会社名 山一電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 織田 俊司
(コード 6941 東証第一部)
問合せ先 取締役兼上席執行役員 加藤 勝市
(TEL 03-3778-6111)

為替差損の計上および第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異
ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成24年3月期第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日～平成23年9月30日）における為替差損の営業外費用への計上、および平成23年5月18日に公表いたしました平成24年3月期第2四半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の業績予想と実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の業績予想につきましても修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 為替差損の内容について

平成24年3月期第2四半期連結会計期間において、為替相場の変動により、為替差損252百万円を営業外費用に計上いたします。従いまして、平成24年3月期第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）における為替差損は365百万円となります。

なお、上記の金額は平成24年3月期第2四半期期末時点での為替相場の影響による為替差損であり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

2. 業績予想との差異および修正について

(1) 平成24年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値と実績値との差異
(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,940	80	△60	△210	△9.02
実績値 (B)	11,800	△111	△478	△694	△29.81
増減額 (B－A)	△140	△191	△418	△484	―――
増減率 (%)	△1.2	―	―	―	―――
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	15,444	1,406	870	797	40.54

(2) 平成24年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値と実績値との差異
(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,930	百万円 △30	百万円 △70	円 銭 △3.01
実績値 (B)	7,265	△172	△236	△10.16
増減額 (B－A)	△665	△142	△166	————
増減率 (%)	△8.4	—	—	————
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	9,171	443	288	14.65

(3) 平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 26,900	百万円 980	百万円 700	百万円 350	円 銭 15.03
今回修正予想 (B)	24,000	10	△500	△800	△34.35
増減額 (B－A)	△2,900	△970	△1,200	△1,150	————
増減率 (%)	△10.8	—	—	—	————
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	27,476	996	366	157	7.35

(4) 平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,850	百万円 370	百万円 290	円 銭 12.45
今回修正予想 (B)	14,700	△250	△350	△15.03
増減額 (B－A)	△3,150	△620	△640	————
増減率 (%)	△17.6	—	—	————
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	16,539	357	51	2.42

3. 業績予想との差異および修正の理由

第2四半期累計期間の連結業績予想との差異については、売上高はほぼ前回予想どおりとなりましたが、利益面ではP Vソリューション事業の赤字拡大、円高による為替差損365百万円の計上および平成23年9月30日付「当社連結子会社における希望退職者募集の結果および特別損失の発生に関するお知らせ」の発表のとおり特別損失89百万円の計上により、前回予想を下回りました。

P Vソリューション事業の赤字拡大については、競争激化による市況の悪化や新規商談の成約が低迷したことにより、事業拡大に向けての投資に見合う売上獲得ができなかったことによります。

なお、個別業績予想の差異については、円高による為替差損の計上が主な理由となります。

連結および個別の通期業績予想については、第2四半期累計期間までの業績結果および第3四半期以降の各事業分野における事業動向の見通しを踏まえた結果、当初の予想を下回る見込みとなりましたので、修正いたします。

以 上